

令和4年度

事業計画書

公益財団法人 三重県水産振興事業団

令和4年度事業計画

I. 目的

水産業に関わる社会的、経済的基盤の整備開発及び漁業経営の安定に係る事業を推進し、もって時代の要請に即応した安全で安心な水産物を安定的に供給すること並びに水産業の健全な発展を図るとともに地域経済に寄与することを目的とする。

II. 法人を取り巻く経営環境

当法人は、次のような経営環境にあるが、関係機関との連携を図りながら、栽培漁業にかかる円滑な推進に向け、種苗生産等を通じて、県内の水産振興のため各事業に取り組むこととする。

- 1 外部的な要因として
 - ①債券の超低金利状況が継続している
 - ②行政機関の財政逼迫により委託費等が削減されている
- 2 内部的な要因として
 - ①種苗生産施設の老朽化に伴う修理、改修費などの経費が増大している
 - ②健全種苗の量産化や新たな種苗生産を開発育成する必要がある

III. 令和4年度事業（公益目的事業）

1. 水産種苗生産供給事業
県民に安全で安心な水産物を安定的に供給するため、水産動植物の種苗生産及び中間育成を行い種苗供給する。
2. 水産生物量産化技術試験事業
種苗生産の量産化に技術的課題がある魚種の技術開発試験を行う。
3. 水産振興対策事業
水産資源の維持増大を図るため、漁協が実施する種苗放流事業等に助成する。
4. 啓発普及事業
水産振興に係る協議、調査及び啓発普及などを行う。

5. 資源増大実証事業

水産動植物の種苗生産、中間育成及び放流を実施するとともに、市場での放流魚の混入率を調査し、その効果を明らかにする。

6. 伊勢湾栽培漁業推進事業

伊勢湾沿岸地域の漁協等が実施する種苗生産・放流事業に助成する。
また、放流用種苗の中間育成を行い種苗供給する。

7. 伊勢湾水産振興事業

伊勢湾沿岸地域の水産資源の維持増大を目的とした放流とその効果調査及び安定的な漁業経営の育成対策並びに海域の水産動植物の生息域の保全、改善に関する事業に助成する。

IV. 事業内容

1. 水産種苗生産供給事業【予算額 215,709 千円】

1) 種苗生産事業

(1) 三重県栽培漁業センター（以下「浜島センター」という。）において、県から委託されたヒラメ、クルマエビ、アワビの種苗生産を行い、県からの指示により種苗を供給する。

その他にアコヤ貝、ピース貝、ガザミを種苗生産する。

浜島センター【51,539 千円】（県から受託）

浜島センター

(千尾、千個)

種苗名	県委託事業			アコヤ貝種苗生産・飼育管理試験事業 アコヤ貝種苗生産緊急事業				伊勢湾 資源調査 試験事業	種苗生産 事業
	ヒラメ	クルマエビ	アワビ	アコヤ貝		ピース貝		ガザミ	アワビ 中間育成
サイズ	30mm	17mm	25mm	2mm	4mm	2mm	4mm	5mm	25mm
計画	200	3,100	100	300	50	90	20	1,909	147

(2) 三重県尾鷲栽培漁業センター（以下「尾鷲センター」という。）において、アワビ、マダイ、トラフグ、カサゴ、マハタ、ヒロメの種苗生産及び中間育成を行う。

マハタ種苗生産については、三重県水産研究所（以下「水研」という。）から基礎技術の移転を受け、東紀州活性化のため、種苗生産及び中間育成試験を実施する。また、出荷魚の全数に VNN ワクチンの接種を行う。

尾鷲センター 【146,093 千円】

尾鷲センター

(千尾、千個)

種 苗 生 産 事 業							
種苗名	アワビ		マダイ	トラフグ	カサゴ	マハタ	ヒロメ 種糸
サイズ	25mm	30mm	30mm	20mm	50mm	130mm	—
計 画	326	122	600	248	56	165	4,500m

※25 mmアワビの内 147 千個は浜島センターで中間育成する。

2) 種苗供給事業 【18,077 千円】

両センターで生産した種苗を要望のある市町、漁協等に供給する。

2. 水産生物量産化技術試験事業【予算額 11,989 千円】

1) マハタ 種苗生産技術高度化試験事業【2,500 千円】

マハタの種苗生産（中間育成）において、比重選別により高成長個体（開鰾率が高い）種苗を選別し飼育すれば生産効率の向上を図れると想定されるためその試験研究を水研へ委託する。

2) クルマエビ成熟制御技術開発事業【1,950 千円】（JST から受託）

国内の研究機関とタイ王国との共同研究において、クルマエビ等の基礎技術を開発する。

浜島センターにおいて、クルマエビを用いた稚エビから親エビに至るまでの養成技術を改良するため、クルマエビの成熟・産卵を人為的に誘導させる、ホルモン投与方法や飼料の開発について研究を実施する。

3) アコヤ貝種苗生産・飼育管理試験事業（県から受託）

アコヤ貝種苗生産緊急事業 【1,437 千円】

水研が調達した親貝を用いて、アコヤ貝（日本産）及びピース貝の種苗生産及び中間育成を緊急的に実施する。

4) 海女漁業資源増大技術開発試験事業

アワビ親貝の成熟管理技術試験事業【602千円】（県から受託）

海女漁の重要な漁業資源となっているアワビ類の環境変化に対応した資源回復及び安定的な漁獲を推進するため、種苗生産の安定化と効率的な種苗生産をめざし、親貝が採苗に適した成熟状態を保つ水温管理技術の開発試験を実施する。

5) 広域種資源造成支援事業【3,300千円】（全国豊かな海づくり協会事業）

広域に回遊する魚種の資源造成が円滑に行えるよう平成23年度に太平洋南海域栽培漁業推進協議会（千葉県～宮崎県）が設立され、神奈川・静岡・愛知・三重の4県は、トラフグを対象として共同で取り組んでいる。

当法人では、トラフグ種苗を8万尾生産し、6万尾を伊勢湾内に放流する。

6) ハマグリ人工種苗生産技術開発事業【1,200千円】（水産庁から受託）

さけ・ます等栽培対象資源対策共同研究機関に参画して、伊勢湾の重要な漁業資源となっているハマグリ的人工種苗生産技術を開発する。

7) アサリ種苗生産・中間育成技術開発事業【1,000千円】（県から受託）

伊勢湾の重要な漁業対象種であるアサリ的人工種苗生産技術及び中間育成技術を開発する。

3. 水産振興対策事業【予算額 3,367千円】

1) 外海域水産振興事業【3,367千円】

沿岸漁業の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業等や県が整備した浮魚礁の管理に助成する。

4. 啓発普及事業【予算額 3,450千円】

栽培漁業の円滑な推進を図るため、伊勢湾地域栽培漁業推進協議会及び三重外海域栽培漁業推進協議会を開催し、放流用種苗の中間育成、放流場所、放流効果等に関する協議を行う。

また、水産物消費拡大促進協議会の実施する魚食普及活動に協賛、助成するとともに、県民や児童による種苗放流への支援、成果報告会の開催及びみえ栽

培漁業ニュースやホームページなどを通じて、県民へ水産生物資源の維持増大の重要性について情報提供を行う。

さらに、水産庁の事業である水産多面的機能発揮対策事業の推進にかかる業務を、県、市町、他関係機関と共同して取り組むこととする。

5. 資源増大実証事業【予算額 45,843 千円】

1) 地域展開促進事業 【27,448 千円】

尾鷲センターで生産した、マダイ種苗 60 万尾を、同センターで 60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾口から三重外海域に放流する。

また、放流効果を把握するため、水研の指導のもと、関係者と協力し、主要市場における漁獲や価格及び混入率等の調査を実施する。

2) 特定海域展開事業 【8,337 千円】

浜島センターで生産した、ヒラメ種苗 20 万尾を 4 ヶ所で 70~80mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、放流効果を把握するため、主要市場で漁獲及び混入率等の調査を実施する。

3) 資源回復計画促進事業 【10,058 千円】

尾鷲センターで生産したトラフグ種苗 25 万尾を、3 ヶ所で 50~60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、水研が行う主要市場で漁獲及び混入率等の調査に協力する。

6. 伊勢湾栽培漁業推進事業【予算額 66,312 千円】

1) 伊勢湾海域生物中間育成事業 【59,000 千円】

伊勢湾北部中間育成場においてクルマエビ種苗 155 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流する。

また、伊勢湾南部中間育成場では、ヒラメ種苗 8 万尾、トラフグ種苗 3 万尾、クルマエビ種苗 155 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流する。

2) 伊勢湾海域資源増大事業 【2,302 千円】

伊勢湾海域の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業等に助成する。

3) 伊勢湾資源調査試験事業 【5,010 千円】

- (1) ガザミ種苗を浜島センターで生産、中間育成をして要望のある海域へ放流する。
- (2) ハマグリ人工種苗生産技術開発事業で生産された、ハマグリ人工種苗を利用して、伊勢湾北部中間育成場において、中間育成試験を行う。
- (3) 沿岸漁業の漁獲量が減少傾向にある中、マコガレイを伊勢湾に試験的に放流する。

7. 伊勢湾水産振興事業 【予算額 116,477 千円】

1) 海域環境対策事業 【4,030 千円】

伊勢湾海域の環境保全を図るために実施する流木等ゴミ被害対策や底質改善事業、藻場・干潟の再生事業及び環境保全の啓発普及事業等に助成する。

2) 水産資源管理増大事業 【13,120 千円】

伊勢湾海域の水産資源管理や資源増大を図るため、重要貝類の種苗放流事業、資源管理対策事業及び資源保護に必要な漁場造成事業等に助成する。

3) 漁業経営安定対策事業 【99,327 千円】

漁業経営の安定化を図るため、伊勢湾内の漁協等が実施する各種の共同利用施設整備事業等に助成する。

令和4年度 収支予算書

科 目	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	増 減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益	43,750	43,550	200
基本財産（振興）受取利息	18,390	18,390	0
基本財産（栽培）受取利息	17,807	17,807	0
基本財産（伊勢湾）受取利息	7,553	7,353	200
特定資産運用益	25,392	25,119	273
特定資産受取利息	25,392	25,119	273
事業収益	156,054	167,991	-11,937
受託事業収益	60,078	61,668	-1,590
生産物等収益	95,976	106,323	-10,347
受取補助金等	2,300	2,496	-196
受取地方公共団体等補助金	2,300	2,496	-196
受取寄付金	101,000	0	101,000
受取寄付金振替額	101,000	0	101,000
受取負担金	20,419	20,759	-340
受取負担金	20,419	20,759	-340
雑収益	1,722	1,995	-273
受取利息	1,722	1,995	-273
雑収益			0
経常収益計	350,637	261,910	88,727
経常費用			0
事業費	438,576	366,578	71,998
役員報酬	3,850	3,850	0
給料手当	98,757	98,806	-49
賃金	36,157	35,126	1,031
退職給付費用	5,230	8,944	-3,714
賞与引当金繰入額	6,511	7,165	-654
福利厚生費	21,403	20,273	1,130
会議費	10		10
旅費交通費	2,536	3,210	-674
通信運搬費	1,080	1,149	-69
減価償却費	8,609	8,139	470
消耗品費	23,088	24,827	-1,739
修繕費	8,277	10,402	-2,125
印刷製本費	230	290	-60
燃料費	7,177	6,054	1,123
光熱水料費	27,897	27,701	196
借損料	4,633	4,860	-227
原材料費	2,008	2,887	-879
餌料費	21,592	23,117	-1,525
種苗費	18,585	25,710	-7,125
新聞図書費	242	316	-74
租税公課	8,293	9,714	-1,421
保険料	687	970	-283
会費	36	36	0
助成金	119,117	30,556	88,561

科 目	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	増 減
負担金	2,314	2,480	-166
委託費	7,189	6,960	229
研修費	13	30	-17
備品費	0	0	0
手数料	3,055	3,006	49
管理費	4,319	4,119	200
役員報酬	350	350	0
給料手当	1,913	1,762	151
賃金	375	322	53
福利厚生費	448	448	0
会議費	120	120	0
旅費交通費	246	250	-4
通信運搬費	50	50	0
消耗品費	123	123	0
印刷製本費	124	124	0
燃料費	20	20	0
借損料	0	0	0
新聞図書費	30	30	0
保険料	115	115	0
会費	157	157	0
負担金	125	125	0
研修費	33	33	0
手数料	20	20	0
雑費	70	70	0
經常費用計	442,895	370,697	72,198
評価損益等調整前当期經常増減額	-92,258	-108,787	16,529
投資有価証券評価損益	0	0	0
投資有価証券売却益	0	0	0
評価損益計	0	0	0
当期經常増減額	-92,258	-108,787	16,529
經常外増減の部			
受取負担金	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-92,258	-108,787	16,529
一般正味財産期首残高	290,099	172,227	117,872
一般正味財産期末残高	197,841	63,440	134,401
指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	0	0	0
特定資産評価損益	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	-101,000	0	-101,000
指定正味財産期首残高	5,897,603	5,058,926	838,677
指定正味財産期末残高	5,796,603	5,058,926	737,677
正味財産期末残高	5,994,444	5,122,366	872,078

